

観光コースでないベトナム旅行記

(その3)

植田栄一 (城南保健生協理事)

日本より小さなベトナムが、なぜアメリカを打ち負かしたのか、答えを見つけたわけではないが、いくつかのヒントは歴史博物館や戦争資料館で見ることができた。1つは、ベトナムの人びとが遠い昔から大国の侵略や攻撃を経験し、さまざまな知恵と忍耐を身につけていたこと。例えば、日本と同じように元寇が何度もあり、船で攻めてくる元の軍隊を満潮時、川に

おびき寄せ、川底に打ってあった木の杭が干潮時に船を押し上げて身動きできないようにして壊滅させた。フランスの植民地時代、ディエンビエンフーのたたかいでは、フランス軍から奪った大砲を道のない山の上まで運び上げ、フランス軍の陣地を砲撃。ベトナム軍の武器や食料を運んだ自転車は、一台に米俵5つ(1つが60kg)と水・食料など370kgを積み、ハン

3つ目は世界の良識、反戦・平和の運動に働きかけたことがアメリカを孤立させ、戦争放棄せざるを得ない状況に追い込んだこと。日本のベトナム反戦運動が大きな励みになったと聞いてうれしかった。現在はめざましい経済発展をとげ、平和な中で国民のエネルギーがあふれている。社会主義国ではあるが、ドイモイ(刷新)政策で市場経済・競争原理を導入し、土地の所有や会社の経営なども可能になって豊かになった一方、貧富の差も拡大している。また、電力不足を解消するために、なんと日本から原発輸入を決めている。地震がないとはいえ、太陽光などの自然エネルギーにあふれるベトナムでなぜ?と心配になる。

最後に、ベトナム人のDNAを感じさせるエピソードを紹介したい。案内で同行した伊藤千尋さんの家に、一時期ベトナム難民のタムちゃんという女子中学生が勉強に来ていた。病弱の両親を助けて、ベトナム料理店でアルバイトなどをしながら学校に通っていた。毎日仕事と勉強で疲れ、成績も芳しくなかったため、伊藤さんの奥さんが国語や数学などの家庭教師をしていた。ある時無償で教えていると思っただけで、怒ったそう。奥さんもお金はもらえないと強く主張したが、タムちゃんは「無料で教えてもらうわけにいかない」と言い張り、結局月1000円の授業料で折り合いい、2人は真剣に教え、学んだそう。



ベトナム軍の武器や食料を運んだ自転車

ベトナムの歴史は、独立と自由を獲得するたばかりの歴史でもある。その経験から「ベトナムの人は過去にこだわらない。一人ひとり、人として接することが大事なこと。ベトナムの考えは恨や怨ではなく許だ」という伊藤さんの言葉に、ベトナムの明るい未来を感じた。これからはもしっかり見守っていきたい国である。(完)

新ゆたか診療所 開設!

8月5日(月)より、新ゆたか診療所が開設します。新住所は品川区豊町4-18-24。電話番号は3781-4723で変わりません。これまで地域共同基金・募金などでご協力いただきありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。

ゆたか診療所で非常勤職員を募集します!

働きがいのある職場です。お気軽にご連絡願います。

職種: 通所リハビリテーション 非常勤職員 (ヘルパー業務)

資格: ヘルパー2級以上

勤務時間: 月曜~金曜日 8:50~16:50 (休憩60分)

土曜日 8:50~12:50(月1回程度)

※残業あり

給与: 経験年数・資格により法人規定となります

社会保険・雇用保険加入

年2回健康診断実施およびユニホーム貸与

担当: ゆたか診療所 通所リハビリテーション

責任者: 福田 電話: 3781-4723

大田病院 調理員募集!

非常勤調理員 (洗浄・配膳・調理補助)

年齢: 60歳迄 *経験不問

勤務形態: ① 9:00~15:00

② 13:00~19:00

③ 14:30~20:30

上記①②③のシフト制 (休憩1時間)

勤務地: 大田病院栄養科

給与: 時給1,000円~

履歴書(写真付)を下記までお送りください

〒143-0012 大田区大森東4-4-14

大田病院 担当: 事務長 入部

TEL 3762-8421

「よろず(なんでも)相談」

月曜~金曜の10時~12時

大森中診療所1階(無料)

《法律相談は毎月》

第1水曜日 13時~15時

第3土曜日 10時~12時



聴覚障害を持つ人たちの職業訓練所

たまご通信 その6

真夏には甘酒

星野弘子

(女子栄養大学 食生活指導士1級)

移動や帰り道、疲れを感じた時に入るところが2カ所ある。ぐったりした時は図書館がよい。ランチルームで少し食べた後、ソファで読んでいるふりをして休息する。今日は、あふれる商品と人びとの喧嘩でストレスを吹き飛ばそうとマーケットへ。そこで良い物が目に止まった。モヤモヤとした煙のような菌糸が表面を覆って、銀色に輝いて見える。力のありそうな米麺である。これで甘酒を作ろう。正月には馬込の萬福寺で馳走になったやさしい甘酒。冬の飲み物かと

思ったら、そうではない。江戸時代に喜田川守貞が書いた本『守貞謄稿』には、「京阪は専ら(もっぱら)夏夜のみ売る。江戸は四時(しじ)ともに売る。また「以前は冬の夜に売ったが、今では暑さの日に売りにあるき」とある。ならば、季節を繰り返してみよう。甘酒は夏の季節なのだ。江戸時代の暑い夏は疫病や熱中症も多かったろう。1年中で夏に一番多く死人が出たので、薬効を期待して飲んでいただけの様子がかげえる。

甘酒は麹菌が米を分解してできる発酵食品で、その成分は20%がブドウ糖で、他にビタミン類とアミノ酸をたっぷり含む。1杯6~8文(150~200円位)で、まさに栄養ドリンクといったところ。これによく似たものとして身近にあるのが、点滴に使われる栄養剤である。早速つくってみよう。1合の米を3合分の水で粥に炊く。別の器に取って、米麹200gをほぐして混ぜる。それを炊飯器の保温機能で湯煎にし、蓋はしないで10時間くらい置く。注意することは、50~60℃(少し冷めたお茶くらい)を保つために、時にはスイッチを切ったり混ぜたりしよう。好みの濃さに薄めてシロウガを入るとおいしい。

甘酒の夏らしいアレンジを1つ。凍らせてみよう。途中で取り出し、ザクザクとスプーンでほぐして再び凍らせると、程よいシャーベットになる。すりゴマをかけていただく。常とは違った夏の涼味である。シナモンパウダーとも相性がいい。冷たいだけに、ブドウ糖が一層早く体に吸収されて、元気が出ることを期待しよう。この夏は江戸の知恵にあやかって、私も甘酒で猛暑を乗り切ろうと思う。

第29回大田・品川健康まつり

10月27日(日)開催 会場: 池上会館(予定)



ヘルパーとグループホーム職員募集!!

- 1. ヘルパー (ヘルパー2級以上の資格要)
 - 内容: 訪問介護の仕事。週1日、1時間以上の勤務から応募可能(土日勤務も可)。
 - 給与: 1,350円~1,800円(時間給)
 - 勤務地: ヘルパーステーションすずらん(平和島・馬込・ゆたか・蒲田事務所・うのき事務所)
- 2. グループホーム職員 (介護経験・ヘルパー2級以上あれば尚可)
 - 内容: 認知症対応型グループホーム入居者の生活援助支援。
 - 給与: 1,050円~1,700円(時間給)
 - 就業時間: 7時~15時 9時~17時 12時~20時
 - 勤務地: グループホーム虹の家しおかぜ(大森東)・みちづか(新蒲田)

お問合せは生協本部・担当横山まで 電話 3762-0266